



コメドールだより

LOS SALADOS 編

【はじめに】

カリブ海に浮かぶ島、ドミニカ共和国。ドミニカ共和国第2の都市サンティアゴはスペイン統治時代の風情が残る旧市街と、中心に高くそびえるモニュメントがある自然と都会が融合した美しい地方都市…。その一方で貧富の格差が住む地域で分かる格差社会を抱えています。

配属先は NGO 団体「カリタス・サンティアゴ」。貧困層を対象に支援活動を行う団体です。私の活動は貧困地域にある児童福祉施設「コメドール」で、手工芸や図画工作を子ども達や保育者に教える事です。コメドールには現在3歳から11歳の子供達に通っています。多くの家庭が貧困の為、自宅で絵を描いたり作品を作ったりする機会がありません。子ども達が図画工作を通して「自分で考えて作ってできた！」という自主性と自信を持てるように、今日もコメドールに足を運びます！今回は市内北部に位置する「Los Salados(ロス・サラドス)」地区にあるコメドールを紹介します。

活動紹介

①巡回活動型:サンティアゴ市内各地にある児童福祉施設を訪問して、子ども向けの手工芸や図画工作教室を行う。

②配属部署が開催するイベントの装飾作り。
(垂れ幕作成から販売するお菓子の飾りまで)

③現在は活動に興味を持った保護者を対象にした図画工作教室も開催。

青少年活動は行動すれば活動の幅がドンドン広がる職種です！

隊員の自己紹介

長江 茉莉子 (ながえ まりこ)

★任国:ドミニカ共和国

★任地:サンティアゴ

★配属先:NGO 団体
カリタス・サンティアゴ

職種:青少年活動

【コメドールって何？】

「コメドール」はスペイン語で「食堂」を意味します。

カリタス・サンティアゴが運営する施設では、子ども達に朝食と昼食を提供する為、「コメドール」と呼ばれるようになりました。



写真①昼食を取る子ども達

※フェイスペインティングをした後なので、顔に名前や花が描いてある子がいます。

【コメドールでの活動】

コメドールに通う子ども達を対象に、手工芸や図画工作教室（通称「アクティビティ」）をしています。学校に通っていない子ども達もいる為、鉛筆の持ち方、ハサミや糊などの道具の使い方等、「作る、書く（描く）」の基礎をアクティビティを通して体験できるようにしています。

今回は子ども達と作った壁面飾りの様子を紹介します。



写真②形遊びと作品作り（5歳児）

形遊びをした後に、マルを繋げて青虫を作りました。遊びに来ていた2歳の女の子も興味津々(´▽`)



写真③お花づくり（年長組）

和紙に似た色紙（こちらの商品名は「ティッシュペーパー！？」）でお花づくり。最初は破りながらも、作っていくうちにキレイに作れるようになりました。

その喜びをニコリマークを作って表す女の子♪



写真④輪飾り（3、4歳児）

「貼る」練習をしている年少の子ども達。今日は輪飾りを作って楽しみながら練習です♪

【子ども達の好きなこと】



写真⑤ぬりえ（先生と年長の子ども達）

色鉛筆やクレヨン等がない家庭が多いので、ぬり絵はコマドールでしかできない貴重な遊びになっています。そのため、アクティビティの最後にはぬり絵の時間を設けています。

【Poco a poco:少しずつ】

ロス・サラドスのコマドールに通うようになって1年…。最初は字を書けなかった子が字を書くようになり、今回の壁面飾りの習字で日本語にも挑戦しました。

少しずつ「自分でできた！」体験が増えていき、子ども達の成長の糧となっています。失敗をしてすねる事もありますが、少しすると「Otra vez!(もう一度)」と自分からまた挑戦するようになりました。

自分で最後までやり遂げた時の子ども達の笑顔が、私やコマドールの先生達にとって最高のプレゼントです。